

検疫検査場（検疫ブース）における検疫業務のイメージ

検疫ブースにおける役割

検疫官（健康相談・有症者担当）

- ・サーモグラフィにより発熱が確認された者や自ら体調不良を申し出た者に対し専門的知識に基づき質問、観察から健康に異状がある者、疑われる者を正確に把握する。
- ・健康相談室に案内し、医師への症状の確実な説明と必要な医療の補助を行う。

検疫官（ブース担当）

- ・入国者に対し、感染症等の疾病に関する質問等を行うことで、健康状態の確かな確認を行い、健康に異状がある者、疑われる者を把握し、検疫官（健康相談・有症者担当）へ引き継ぎ、又は健康相談室を案内する。

検疫官（サーモグラフィ担当）

- ・入国者へ健康に関する異状、心配事項があれば検疫官に申し出るよう呼びかける。
- ・サーモグラフィのモニタを確認しながら、健康状態に異状がある者（発熱者）を発見する。



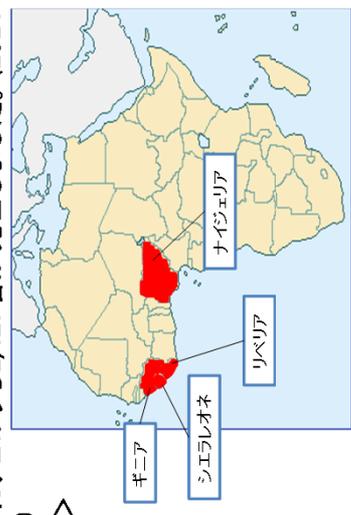
健康相談室

西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行を踏まえた検疫業務の強化

- 発生国から帰国・入国される方々に対して、より一層の注意喚起を行
い、確実に問診・健康相談等を行う体制を整備。

(入国者用)
**西アフリカで
エボラ出血熱が発生しています！**

WHOの情報によると、西アフリカ(ギニア、リベリア、シエラ
オネ、ナイジェリア)においてエボラ出血熱が発生し、2,615名
の患者が報告され、このうち1,427名が死亡しました。(2014
年8月20日現在)



<患者等の発生状況>

- ギニア 607名(406名)
- リベリア 1,082名(624名)
- シエラレオネ 910名(392名)
- ナイジェリア 16名(5名)

※括弧内は死亡者数を再掲。

エボラ出血熱 は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触する
ことにより感染し、死亡率の高い(25～90%)病気です。
潜伏期間は、2～21日(通常は7日程度)で突然の発熱、疲労
感、筋肉痛、頭痛、咽頭(のど)痛で発症します。それらに引き
続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行す
ると全身に出血傾向がみられ死亡します。

**西アフリカ(ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイ
ジェリア)から帰国された方へ
念のため、健康状態等をお尋ねいたしますので、
必ず、お近くの検疫官にお申し出ください。**



(右) 出入国者に対する注意喚起のポスター

(下) 検疫ブースにおける注意喚起・サーモグ
ラフィーによる発熱の確認

